

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドリームズ・21st 伊勢ラパーク前校		
○保護者評価実施期間	2025年12月20 日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	87世帯	(回答者数) 60世帯
○従業者評価実施期間	2026年1月13日		～ 2026年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	パソコンスキルを身につけることができる パソコン検定の会場であること 利用者へ、年間通してタイピング・Word・Excelの基礎、または応用レベルのレッスンカリキュラムを提供しており、最大年4回受験申し込みの機会があること	利用者の特性や、学年に合ったカリキュラムを作成し、スモールステップで能力UP(検定合格)を目指している	現状3名が、Word、Excel、PowerPointの1級を取得済みであるが、他職員も、利用者の特性に合わせたレッスンができるようスキルアップの取り組みに努めている
2	漢字検定へ向けての学習指導がある 漢字検定の準会場であること 普段通っている環境で、希望者は漢字検定の本試験を受験することができる	チャレンジする級を決めるために模擬テストを行い、一人一人に合わせたテキストと学習内容を提供している	年に4回程度、利用日利用時間内で模擬試験を実施し、個々の弱点を抽出後、弱点克服ができるよう個別対応で対策が行われていること
3	週に1回(主に土曜日と長期休み)程度、創造創作の時間があり、「自分で考え、つくり、伝え、改善」する能力の向上を目指している	集団で1つの作品を作ることによりコミュニケーション力を向上させる目的、個別で作品をつくることにより集中力を個以上させる目的、長期休みは職員と買い物に出掛けるイベントで新しい発見を見つける目的など 楽しく能力向上できること	利用者が楽しく安全に過ごすことができるようなイベントを発案し、実施前には職員で予行練習が行われていること

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との交流、地域の子どもたちと活動を共にする機会が持てていない	常に安心して利用してもらえる教室、安定した療育・環境を提供していく事を軸としているため、取り組み内容に変化を加えることが難しい時があります。	子どもたちの特性に配慮しながら、突然の変化とならないように事前告知の徹底を行っていく事で対応力を養うとともに楽しい活動内容となるように事前打ち合わせを重ねていきたいと思えます 情報収集と職員のスキル向上に注力していきます
2	父母の会が無く、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が少ない	合同の意見交換会がなく、保護者同士のコミュニティが存在していない	父母の会につきましては、必要無いという意見もいただいておりますので、必要に応じて検討していきます
3	教室の様子が分からないという意見がある	職員が送迎していて保護者が訪れる機会が無い世帯に関しては、各曜日の状況が分からない	室内には、その日に勤務している職員の名前と顔写真が掲示されていますが、送迎を利用している世帯に関してはお子様の様子が分かりづらく心配な部分もあると思えます 随時になりますが、郵送物をお送りする際に情報を発信していくなどの工夫を行っていきます